

永森直人 県議会通信

発行：富山県議会無所属クラブ 代表 永森 直人
〒939 - 0306 射水市手崎 363 - 1
TEL 0766 - 55 - 3533 FAX 55 - 3577
E-mail: nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp

VOL.3 平成24年1月号
(平成24年1月発行)



富山県議会議員

永森 直人

(略歴)

昭和50年1月20日生まれ
東京都立大（現首都大学東京）卒
平成9年 富山県庁入庁
平成22年 富山県庁退職
平成23年 富山県議会議員選挙で
初当選

ごあいさつ

皆様、あけましておめでとうございます。

去年は、皆様方の絶大なるご支援のもと、県議会議員に当選をさせていただき、以後、がむしゃらに突っ走って参りましたが、新しい年を迎えた今、「地域の幸せを地域自身の力で責任をもって創る」という立候補を決意した時の思いを新たにしているところです。初心を忘れず、本年も、全力投球、直球勝負で頑張っていく所存であります。

本年は、北陸新幹線開業後にJRから経営分離される並行在来線の議論が山場を迎えるほか、診療報酬、介護報酬のダブル改定を含む医療・介護制度の改正、県地域防災計画の見直しなど地域の皆様の生活に直結する重要なテーマについて議論が展開されていきます。

地域の幸せを作るために最も重要なものは、地域の皆様方お一人おひとりのお力です。皆様のご意見、思いが十分に県政に伝わるよう、懸命に努力をしておりますので、皆様方も、大いにご意見、ご提案をいただき、ともに豊かで暮らしやすい射水市、富山県を創り上げていきましょう。

平成23年11月定例議会において質問しました！

問 農業生産の7割が米という本県の特殊な農業構造を改善するために野菜生産の拡大を目指す必要があるのではないかと？

答 国の戦略作物と園芸作物による2毛作の取組みに対する助成や園芸生産に必要な機械、施設の導入に対する助成などを行っているほか、園芸生産が稲作に比べきめ細かな栽培技術や労働力が必要なことを踏まえ、緊急雇用事業を活用した新規就農者への人件費助成を行うなどして園芸振興に取り組んでいる。

問 TPP交渉が取り沙汰される中、コメ生産も生き残りをかけた競争が始まる。富山コシヒカ리를新潟コシヒカリに負けないブランドにしていく必要があるのではないかと？

答 富山コシヒカリの食味は、魚沼産コシヒカリに次ぐ評価で一般の新潟コシヒカリより高い評価を得ているにも関わらず、価格においては、新潟コシヒカリに比べ60kgあたりで約2,000円低くなっている。
生産面において、さらなる品質の向上を目指すとともに、販売面では首都圏との情報交換に基づく戦略的な販売に取り組み、一層のブランド力の強化を図る。

問 コメの国内消費の先細りが見込まれる。コメの輸出にも積極的に取り組む必要があるのではないかと？

答 本県産米の輸出は増加傾向にあり、平成22年実績では、EU、香港、台湾などへ前年と比べ約10倍の220トン（面積にして約40ha）となっている。
しかしながら、①現地産米との大幅な価格差があること、②検疫などの課題なども多いことから、まだまだこれからといった状況である。県としては、各国の輸出条件等を調査・確認しながら、長期視点に立って、県産米の輸出促進に努力する。

トピックス 並行在来線の経営計画概要の素案が示されました

■ダイヤ編成は地域密着型に見直し

- ・富山～高岡駅間など通勤、通学の利用が多く、朝、夕に混雑している時間帯について、地元密着ダイヤに見直す。（日中の時間帯については、現状の運行本数の維持を基本とする）
- ・北陸新幹線やJR氷見線、城端線、高山線、富山地方鉄道線等との乗り継ぎ利便性の確保を目指す。

■特急列車は引き続きJRと協議

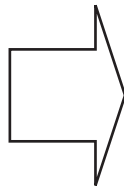
- ・関西方面や中京方面との特急列車が金沢止まりとなる問題については、引き続き調整を行う。特に、新幹線で代替されない時間帯（早朝など）に運行する特急列車については、利用実態を踏まえJR西日本に引き続き運行を要請する。

■2両編成の新型車両を導入、日中のワンマン化も検討

- ・朝夕、日中の時間帯ごとに車両編成数をきめ細かく増減するために3両ユニットの現在の車両から2両ユニットの新型車両を導入する。
- ・日中の時間帯（概ね10時頃から15時頃）におけるワンマン運転を検討する。新型車両は、ワンマン運転の設備が標準装備されている。



旧型車両（413系）



新型車両（521系）

■開業時の職員は300名程度

開業時の職員数は300名程度となる見込み。なお、職員はJR西日本から専門的な技術、経験を有する社員の派遣を受けながら、計画的に採用、養成を行っていく。

■並行在来線3セク会社の出資比率が決まる

- ・3セク会社の出資金は52億円～58億円（初期投資256億円～288億円の20%）を見込んでおり、その出資割合は表のとおりとなった。

	出資比率	出資金（52億の場合）
県	63%	33億円
市町村	27%	14億円
民間	10%	5億円
計	100%	52億円

（主な市の出資割合）

市	割合	金額
富山市	51.7%	7.2億円
高岡市	18.1%	2.5億円
射水市	7.7%	1.1億円
他市町村	22.5%	3.2億円



皆さんからのご意見、アイデア、ご要望をお待ちしています。

永森直人事務所

住所：〒939-0306 射水市手崎363-1
 電話：0766-55-3533 FAX：0766-55-3577
 E-mail：nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp